

3 全国試験（2016）

問 題

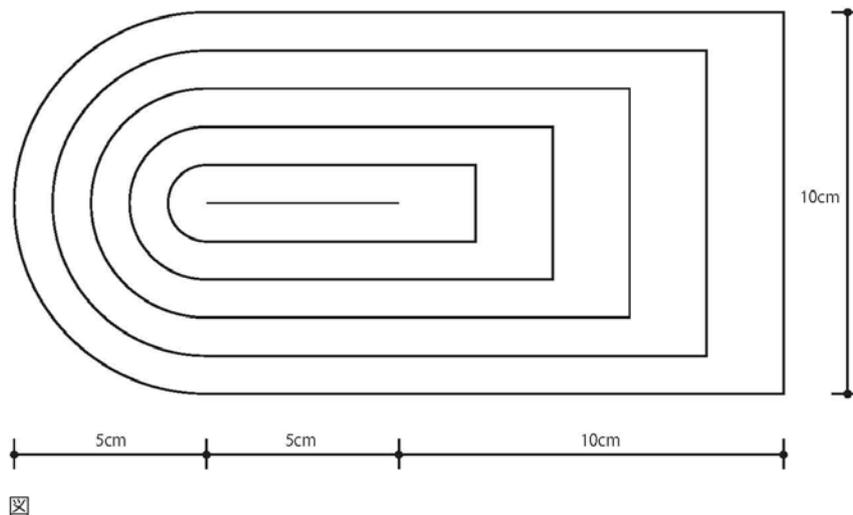
立体の形を伝える方法のひとつに、同じ高さにある点を結んだ線であらわす等高線図法がある。

図は高さ10cmの立体を等高線で表し、外側の線は底面である。

この立体は底面から4cmまでは着色された樹脂、その上は透明な樹脂で作られ、

高さが10cmのリンゴと共に白い平面上に置かれている。

この状態を想像し、描画条件をよく読み、解答用紙（画用紙）に描きなさい。



<描画条件>

- 1) 画用紙の裏面に受験番号・氏名を記入し、表面・横位置で描きなさい。
- 2) 鉛筆や色鉛筆を使用し、フリーハンドで描きなさい。
- 3) 光の方向は自由に設定してよい。
- 4) 与えられた条件以外は自由に設定してよい。



<描画のポイント>

- 等高線図法を理解し，形がイメージできている。
- 着色部分と透明部分が描き分けられ，立体感が出ている。
- 自然物との質感のコントラストが表現できている。